

トリプルガード

(団体生命共済・医療共済)

I. 団体生命共済・医療共済の制度内容 —————	1
保障内容	
共済金をお支払いできない主な場合	
掛金額（1口あたり）	
契約限度	
共済期間	
II. 契約について —————	5
契約できる方	
契約条件	
共済金受取人	
契約の更新	
契約の解約	
III. 共済金等の請求について —————	8
支払事由が発生したら	
共済金のお支払いについて	

この「共済のてびき」は、トリプルガード（団体生命共済・医療共済）の制度概要を説明したものです。

ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書（契約概要・注意喚起情報）をご覧ください、制度内容をご確認ください。

I. 団体生命共済・医療共済の制度内容

保障内容

団体生命共済

	共済金の種類	支払事由	共済金額 (1口あたり)	共済金請求に必要な主な書類
基本契約	死亡共済金	自然死、病死、事故死	一時金 100 万円	共済金請求書 死亡診断書または死体検案書、戸籍謄本、共済金受取人の印鑑登録証明書
	高度障害共済金	所定の高度障害を負ったとき	一時金 100 万円	共済金請求書 障害（固定）診断書 ※必要に応じて戸籍謄本または住民票
公務・交通災害死亡特約（自動付帯）	交通災害死亡共済金	車両（自動車、原付自転車、自転車、荷車等）、路面電車、列車、航空機、船舶、その他の交通機関の交通によって生じた災害死亡	一時金 50 万円 (死亡共済金に上乗せ)	共済金請求書 死亡診断書または死体検案書、交通事故申請付属書、交通事故証明書、戸籍謄本、共済金受取人の印鑑登録証明書、参考になる書類・新聞記事等
	公務災害死亡共済金	公務員災害補償法等の適用を受けた公務上の死亡		共済金請求書 死亡診断書または死体検案書、公務災害認定書、戸籍謄本、共済金受取人の印鑑登録証明書、参考になる書類・新聞記事等
障害特約（自動付帯）	障害共済金	所定の障害を負ったとき	一時金 40 万円～5 万円	共済金請求書 障害（固定）診断書 ※必要に応じて戸籍謄本または住民票

※お支払いの対象となる「高度障害」「障害」とは、病気または傷害が治癒した時に残存する、症状が固定した状態のことをいいます。「高度障害」とは、教職員共済の団体生命共済事業規約に定める「身体障害等級表」の第1級、第2級および第3級の一部に該当するもの（両眼の失明、咀嚼または言語機能の喪失など）をいいます。「障害」とは同じ「身体障害等級表」に該当する、高度障害以外の障害のことをいいます。

医療共済

	共済金の種類	支払事由	共済金額 (1口あたり(注1))	共済金請求に必要な 主な書類
医療スタンダード	基本契約 共済金 (入院)	被共済者の1泊2日以上入院。1入院につき1日目から年間180日限度(注2)。ただし、ガンによる入院は日数無制限	日額 1,000円 (ガン入院は日額2,000円)	共済金請求書 入院・手術証明書(診断書) ※必要に応じて戸籍謄本または住民票 ※入院期間が15日以内の場合は、入院・手術証明書(診断書)の代わりに病院の発行する領収書または退院証明書で可(コピー可)。ただし、新規契約または更新時に増口された場合や、特約の共済金を請求する場合、悪性新生物による入院の場合は15日以内であっても入院・手術証明書(診断書)が必要です。
	長期入院 特約 共済金	被共済者の180日以上継続入院	一時金3万円	
	手術特約 共済金	被共済者の傷害または疾病の治療を目的とした病院または診療所における手術	所定の手術に対し 一時金4万円・2万円・1万円	
	退院特約 共済金	被共済者が20日以上継続入院後に退院した場合	一時金1万円	
医療オプション	先進医療 共済金	所定の先進医療による療養を受けたとき(年間を通じ通算で最高1,000万円。更新後はリセットされます)	自己負担した技術料相当額 最高1,000万円 (口数はありません)	
	先進医療 特約 共済金	先進医療共済金が支払われるとき、先進医療諸費用共済金として先進医療共済金の10%(先進医療共済金の10%が1万円に満たないときは1万円となります)	先進医療共済金の10% 1回につき最高20万円 (口数はありません)	
	ガン診断 特約 共済金	被共済者が責任開始時以後、出生後初めてガンと診断された場合	一時金20万円	
	生活習慣 病特約 共済金	被共済者が責任開始時以後発病した生活習慣病を直接の原因とする入院であり、生活習慣病の治療を目的とする1泊2日以上入院、1入院につき1日目から年間180日限度(注2)	日額 1,000円	
	女性特定 疾病特約 共済金	被共済者が責任開始時以後、発病した女性特定疾病を直接の原因とする入院であり、女性特定疾病の治療を目的とする1泊2日以上入院、1入院につき1日目から年間180日限度(注2)	日額 1,000円	

(注1) 先進医療特約に口数はありません。

(注2) 別々の原因による入院の場合、通算日数制限はありません(それぞれ年間180日まで保障)。

※入院…医療法に定める病院、診療所、総合病院など公的病院への入院をいい、鍼灸、精神道場等は対象になりません。また、正常分娩による入院、精密検査(人間ドック等)のような健康診断に類する入院は対象になりません。

※手術…治療を目的とした開頭、開腹または開胸の手術をいいます。美容整形上の手術、疾病を直接の原因としない不妊手術、診断、検査(生検、腹腔鏡検査等)等の手術は対象になりません。なお手術共済金の支払事由に該当する手術を同時に2つ以上受けたときは、手術共済金の額が最も高いいずれか1つの手術についてのみお支払いします。

※先進医療…公的医療保険制度にもとづく評価療養のうち厚生労働大臣が定める高度の医療技術を用いた療養で、先進医療ごとに厚生労働大臣が定める医療機関で行われるものに限り(療養を受けた時点において先進医療に該当している必要があります)。該当の技術および医療機関等につきましては厚生労働省のホームページ等をご確認ください。

※ガン…悪性新生物および上皮内ガンを指します。

※生活習慣病…糖尿病・心疾患・高血圧性疾患・脳血管疾患を指します。

※女性特定疾病…子宮筋腫など女性特有の疾病や、甲状腺の障害（先天性甲状腺機能低下は除きます）など女性に多く見られる所定の疾病を指します（ガンは対象となりません）。

共済金をお支払いできない主な場合

死亡共済金

- ① 被共済者が責任開始日（ただし、更新日に共済金額を増額した契約の増額部分についてはその更新日）から1年以内に自殺したとき。
- ② 被共済者の犯罪行為により死亡したとき。
- ③ 共済金受取人が故意に被共済者を死亡させたとき。ただし、その者が共済金の一部の共済金受取人である場合は、その残額を他の共済金受取人にお支払いします。
- ④ 契約者が故意に被共済者（契約者と同一人である場合を除きます）を死亡させたとき。

高度障害共済金

- ① 被共済者が責任開始日（ただし、更新日に共済金額を増額した契約の増額部分についてはその更新日）から1年以内に自殺行為により高度障害になったとき。
- ② 被共済者の故意（自殺行為を除きます）により高度障害になったとき。
- ③ 被共済者の犯罪行為により高度障害になったとき。
- ④ 契約者が故意に被共済者（契約者と同一人である場合を除きます）を高度障害とさせたとき。
- ⑤ 高度障害共済金を支払う前に死亡共済金（当該高度障害共済金の支払いの原因となった傷病との因果関係を問いません）の支払請求を受けたとき、または死亡共済金支払い後に高度障害共済金（当該死亡共済金の支払いの原因となった傷病との因果関係を問いません）の支払請求を受けたとき。

交通災害死亡共済金・障害共済金

次のいずれかの事由により支払事由が発生した場合は共済金をお支払いできません。

- ① 契約者、被共済者、または共済金受取人の故意または重大な過失。
- ② 被共済者の犯罪行為。
- ③ 被共済者の無免許運転、法令に定める酒気帯び運転またはこれに相当する運転をしている間に生じた事故。
- ④ 被共済者の泥酔の状態を原因とする事故。

医療共済金・長期入院共済金・手術共済金・退院共済金・先進医療共済金・先進医療諸費用共済金

次のいずれかの事由により支払事由が発生した場合は共済金をお支払いできません。

- ① 契約者、被共済者、または共済金受取人の故意または重大な過失。
- ② 被共済者の犯罪行為。
- ③ 被共済者の無免許運転、法令に定める酒気帯び運転またはこれに相当する運転をしている間に生じた事故。
- ④ 被共済者の泥酔の状態を原因とする事故。
- ⑤ 被共済者の薬物依存。

その他、次の場合もお支払いの対象となりません。

■各共済金共通

共済金の支払いの原因となる疾病の発病、傷害の発生が責任開始日前のとき（ただし死亡共済金は除きます）。

■死亡共済金

高度障害共済金支払後に死亡共済金（当該高度障害共済金の支払いの原因となった傷病との因果関係を問いません）の支払請求を受けたとき。

※医療共済の基本契約には死亡不担保特則が付いていますので、死亡共済金のお支払いはありません。

■医療共済金、長期入院共済金、手術共済金、退院共済金、ガン診断共済金、生活習慣病入院共済金、女性特定疾病入院共済金、先進医療共済金、先進医療諸費用共済金

- (1) 正常分娩、精密検査（人間ドック等）による入院。
- (2) 医師による治療を直接の目的としない入院。
- (3) 手術共済金は、医師による治療を直接の目的としない美容整形上の手術、疾病を直接の原因としない不妊手術、診断、検査（生検、腹腔鏡検査等）のための手術ではお支払いしません。

- (4) ガン診断共済金は、責任開始日前にガンと診断されたことのある場合にはお支払いしません。
- (5) 先進医療共済金・先進医療諸費用共済金は、厚生労働大臣が定める医療機関で受けた所定の先進医療によるもの以外の療養に対してはお支払いしません。また療養を受けた時点で先進医療に該当しない場合もお支払いしません。

※支払要件を満たさず共済金をお支払いできない場合は、診断書原本をご提出いただいている場合に限り、診断書の実費（要領収書）をお支払いいたします。

掛金額（1口あたり）

1口あたりの掛金		本人・配偶者（1人あたり）							お子さま （1人あたり） （21歳以下）		
		40歳以下	41歳～60歳	61歳～70歳	71歳～75歳	76歳～80歳	81歳～85歳	86歳～90歳			
団体生命共済	月払い	92	263	1,262	2,848	5,149	5,801	9,452	92		
	半年払い	532	1,507	7,246	16,357	29,573	33,322	54,292	532		
	年払い	1,060	3,000	14,420	32,550	58,850	66,310	108,040	1,060		
医療共済	スタンダード	①基本契約	月払い	114	258	738	1,255	1,702	1,932	2,331	114
			半年払い	653	1,482	4,241	7,206	9,774	11,095	13,387	653
			年払い	1,300	2,950	8,440	14,340	19,450	22,080	26,640	1,300
		②長期入院特約	月払い	3	12	39	45	72	134	3	
			半年払い	20	70	226	261	412	769	15	
			年払い	40	140	450	520	820	1,530	30	
		③手術特約	月払い	105	249	390	421	432	409	36	
			半年払い	603	1,432	2,241	2,417	2,482	2,347	206	
			年払い	1,200	2,850	4,460	4,810	4,940	4,670	410	
	④退院特約	月払い	22	73	143	199	281	412	8		
		半年払い	126	422	824	1,141	1,613	2,367	45		
		年払い	250	840	1,640	2,270	3,210	4,710	90		
	合計	月払い	244	388	1,072	1,827	2,367	2,717	3,286	161	
		半年払い	1,402	2,231	6,165	10,497	13,593	15,602	18,870	919	
		年払い	2,790	4,440	12,270	20,890	27,050	31,050	37,550	1,830	
	オプション	⑤先進医療特約	月払い	82							
			半年払い	472							
			年払い	940							
		⑥ガン診断特約	月払い	205	621	1,079	1,286	1,378	1,543	62	
			半年払い	1,176	3,568	6,196	7,387	7,915	8,864	357	
			年払い	2,340	7,100	12,330	14,700	15,750	17,640	710	
		⑦生活習慣病特約	月払い	34	136	498	673	898	1,206	3	
			半年払い	196	784	2,859	3,864	5,156	6,930	20	
			年払い	390	1,560	5,690	7,690	10,260	13,790	40	
⑧女性特定疾病特約		月払い	72	7	18	18	18	18	26		
		半年払い	412	40	106	106	106	106	151		
		年払い	820	80	210	210	210	210	300		

※先進医療特約は口数がありませんので、固定の掛金となります。

※契約年齢は契約日（毎年8月1日）における満年齢です。

※お子さまの新規契約は21歳以下となります。契約を更新される22歳以上のお子さまは契約者本人・配偶者の年齢別掛金の適用となります。

※中途加入の場合は半年払いはご選択いただけません。

契約限度

		本人・配偶者（1人あたり）			お子さま（1人あたり）		
		60歳以下	61歳～70歳	71歳～90歳	14歳以下	15歳～21歳	
団体生命共済		30口	10口	5口	10口	30口	
医療共済	基本契約	医療スタンダード	10口	10口	10口	10口	10口
			長期	10口	10口	10口	10口
	手術		10口	10口	10口	10口	10口
	特約		10口	10口	10口	10口	10口
	退院		10口	10口	10口	10口	10口
	ガン		10口	10口	10口	10口	10口
	生活		10口	10口	10口	10口	10口
女性	10口	10口	10口	10口	10口		
		オプション					

※医療共済の特約は、医療共済の基本契約を契約した場合のみ、基本契約の口数の範囲内で契約できます。

※先進医療特約は口数がありません。

※14歳以下のお子さまについては、他の生命保険（共済）等をご契約されている場合、合わせて死亡保障1,000万円までのご契約となります。他の保険金（共済金）100万円につき1口と換算し、上記限度額1,000万円（10口）から差し引いた口数が団体生命共済でご契約いただける口数となります。

※契約年齢は契約日（毎年8月1日）における満年齢です。

共済期間

共済期間

(1) 一括募集

毎年8月1日から翌年7月31日までの1年間

※新規契約の場合、申込日の翌日もしくは7月2日のいずれか遅い日の午前零時より保障を開始します。

(2) 中途加入・追加加入

初回掛金払込日の翌月1日から直近の7月31日まで

中途加入…一括募集期間以外に団体生命共済または医療共済に加入することをいいます。

追加加入…組合員本人がすでに加入している場合で、その共済期間の途中に配偶者・お子さまが加入することをいいます。

II. 契約について

契約できる方

契約者になれる方

教職員共済組合員

被共済者になれる方

① 契約者本人

② 契約者の配偶者（内縁関係にある方を含みます。ただし、契約者または内縁関係にある方に婚姻の届出をしている配偶者がいる場合を除きます。以下同じです）

③ 契約者と同一生計で未就業、未婚のお子さま（実子・養子・継子）

※②③は①の契約が必要です。単独契約はできません。

契約条件

年 齢 満90歳まで。お子さまの新規契約は満21歳まで。

※年齢は、新規契約の場合は契約日、更新の場合は更新日における満年齢です。なお、中途加入・追加加入の場合は、直前の8月1日時点の満年齢です。

※退職後も満90歳まで継続できます。

※契約者本人の死亡等、契約者本人の契約が消滅した場合、配偶者・お子さまの契約については、配偶者・お子さまの共済期間内の保障は継続します。次年度の更新については所属事業所にお問い合わせください。

健康状態 新規契約時および増口（医療共済の特約を付加する場合があります）申込にあたって、被共済者は次の質問事項について事実を告知していただく必要があります（申込書の該当欄にご記入ください）。質問事項について、故意または重大な過失により事実を告げなかったり、事実でないことを告げた場合は、契約は解除となります。また、質問事項に該当する項目がある場合は、原則として契約をお引き受けできません。ただしその場合でも、一定の条件の下でご契約いただける場合があります。詳しくは所属事業所または本部までお問い合わせください。

〈健康状態質問表〉

- 1 病気やケガのため、申込日に入院、病気休暇または安静加療をしている（病気休暇または安静加療を要すると診断されている場合も含まれます）。
- 2 病気やケガのため、申込日を含め過去1年以内に連続して14日以上入院、病気休暇または安静加療をしたことがある（申込日を含め過去1年以内に病気休暇または安静加療を要すると診断されている場合も含まれます）。
- 3 病気やケガのため、申込日を含め過去1年以内に開頭、開腹または開胸の手術（内視鏡・カテーテルによるものおよび帝王切開を含み、虫垂切除術を除きます）、移植（骨髄移植を含みます）を受けたことがある。
- 4 つぎの病気によって、申込日を含め過去1年以内に医師の診察・検査・治療・投薬を受けたことがある。

悪性新生物、肝炎、肝硬変、腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全、狭心症、心筋こうそく、心臓弁膜症、先天性心疾患、心筋症、心不全、不整脈、大動脈解離、脳出血、脳こうそく、くも膜下出血、脳動脈硬化症、水頭症、統合失調症、うつ病、神経症性障害、自律神経失調症、アルコール依存症、薬物依存症

- 5 申込日現在、医師より「下記の疾病」で診察・検査・治療・投薬を要すると診断されている、または「下記の疾病」により医師の診察・検査・治療・投薬を受けている。

「下記の疾病」とは次に掲げるものをいいます。

①つぎの新生物

腫瘍、ポリープ、筋腫、のう腫、腺腫、ガン（「ガン」とは悪性新生物および上皮内ガンを指します）、肉腫、リンパ腫、白血病、骨髄腫

②つぎの血液、代謝および内分泌疾患

貧血、多血症、骨髄線維症、紫斑病、血友病、糖尿病、甲状腺障害、甲状腺中毒症、甲状腺炎、痛風、高尿酸血症、脂質異常症・高脂血症、骨髄異形成症候群

③つぎの循環器の疾患

狭心症、心筋こうそく、心臓弁膜症、心内膜炎、先天性心疾患、心筋症、心不全、不整脈、心膜炎、心筋炎、心筋虚血、ペースメーカー装着

④つぎの血圧の異常および血管の疾患

高血圧、低血圧（本態性以外）、動脈硬化症、動脈瘤、血栓症、静脈瘤、大動脈炎症候群

⑤つぎの脳、脊髄、神経および精神の疾患

脳出血、脳こうそく、くも膜下出血、脳動脈瘤、もやもや病、一過性脳虚血発作、脳動脈硬化症、水頭症、髄膜炎、脳性まひ、認知症、アルツハイマー病、パーキンソン病、てんかん、統合失調症、躁うつ病、うつ病、気分変調症、神経症性障害、自律神経失調症、アルコール依存症、薬物依存症、多発性硬化症、脊髄小脳変性症、プリオン病、ハンチントン舞蹈病

⑥つぎの食道、胃、腸の疾患

食道かいよう、胃かいよう、十二指腸かいよう、かいよう性大腸炎、クローン病、腸へいそく、腹膜炎、そけいヘルニア、胃・食道静脈瘤

⑦つぎの肝臓、胆道、膵臓の疾患

肝炎（ウイルスキャリアを含む）、肝硬変、脂肪肝、肝線維症、胆石症、胆のう炎、胆管炎、すい炎

⑧つぎの泌尿器の疾患

腎炎、ネフローゼ症候群、巣状糸球体硬化症、腎不全、水腎症、尿路結石、腎結石、尿管結石

⑨つぎの呼吸器の疾患

喘息、肺炎、肺結核、肺気腫、慢性気管支炎、肺線維症、睡眠時無呼吸症候群

⑩その他の疾患

膠原病、リウマチ、骨粗しょう症、骨軟化症、後縦靭帯骨化症、免疫不全症候群、HIV 抗体検査陽性、肺外結核、卵巣機能不全症、子宮内膜症

医療共済に申し込む場合

- 6 つぎの病気によって、申込日現在、医師より診察・検査・治療・投薬を要すると診断されている、または医師の診察・検査・治療・投薬を受けている。
白内障、緑内障、ぶどう膜炎、網膜はく離、網膜色素変性症、眼底出血

女性特定疾病特約に申し込む場合

- 7 現在妊娠している。または申込日を含め過去5年以内に、妊娠・分娩に伴う異常で、入院したり手術を受けたことがある（帝王切開を含みます）。

ガン診断特約に申し込む場合

- 8 今までにガン（「ガン」とは悪性新生物および上皮内ガンを指します）と診断されたことがある。

先進医療特約に申し込む場合

- 9 ガン（「ガン」とは悪性新生物および上皮内ガンを指します）によって、申込日を含め過去5年以内に医師の診察・検査・治療・投薬を受けたことがある。

別表

健康状態質問表でいう悪性新生物とは次のものをいいます。

●口唇、口腔および咽頭の悪性新生物 ●消化器の悪性新生物 ●呼吸器および胸腔内臓器の悪性新生物 ●骨および関節軟骨の悪性新生物 ●皮膚の黒色腫およびその他の悪性新生物 ●中皮および軟部組織の悪性新生物 ●乳房の悪性新生物 ●女性性器の悪性新生物 ●男性性器の悪性新生物 ●尿路の悪性新生物 ●眼、脳および中枢神経系のその他の部位の悪性新生物 ●甲状腺およびその他の内分泌腺の悪性新生物 ●部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物 ●リンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物 ●独立した（原発性）多部位の悪性新生物

共済金受取人

共済金受取人の順位は次のように定められています。受取人をあらかじめ指定する場合は契約申込書にご記入ください。

- ①契約者 ②契約者があらかじめ指定した者 ③契約者の配偶者 ④契約者の子 ⑤契約者の孫 ⑥契約者の父母 ⑦契約者の祖父母 ⑧契約者の兄弟姉妹 ⑨契約者のおい・めい

※医療共済は受取人の指定はできません。

※同順位で共済金受取人が2人以上いるときは、代表者1人を定めなければなりません。その場合、代表者は他の共済金受取人を代表するものとします。その他詳しくは所属事業所または本部にお問い合わせください。

※契約者の遺言による共済金受取人の変更はできません。共済金受取人を変更する場合は、必ず教職員共済にご連絡ください。

契約の更新

重大事由による契約の解除など、契約の更新をお断りする場合を除き、満期となる時点で特にお申し出がない場合は、満期を迎える契約と同じ契約内容で更新日（契約満了日の翌日）に更新します。

※90歳まで契約更新できます。

※団体生命共済は61歳以上になると契約限度が異なります。更新契約が契約限度以上の場合は契約限度まで減額されます。詳しくは5頁の「契約限度」をご確認ください。

※契約を更新される22歳以上のお子さまは契約者本人・配偶者の年齢別掛金の適用となります。

※次の場合は契約を更新できません。

- ① 更新日において契約者と同一生計・未就業・未婚のすべてに該当しないお子さまの場合は契約を更新できませんので必ずお手続きください。（お手続きをされなかった場合も保障の対象となりません）
- ② 高度障害共済金が支払われた場合はそのときをもって、団体生命共済契約は消滅し、更新できません。
- ③ ガン診断特約は、ガン診断共済金を受取った場合、特約の更新はできません。

共済期間中の契約内容の変更（増口・減口・掛金納入方法の変更）はできません。

契約の解約

契約者は、いつでも将来に向かって契約を解約することができます。所定の書類にてお手続きください。解約の効力は所定の書類を受付けた日の翌月 1 日から生じます。

解約時に未経過掛金がある場合は月割で返戻します。

Ⅲ. 共済金等の請求について

支払事由が発生したら

共済金の支払事由が発生した場合は遅滞なく教職員共済審査部（0120-065411）にご連絡ください（受付時間：平日午前9時～午後5時30分）。共済金請求のお手続きのご案内をし、所定の書類をお送りします。

事由発生日の翌日から3年を過ぎてもご請求がない場合は共済金をお支払いできない場合があります。また、掛金の返還等の請求も同様の扱いとなります。

共済金のお支払いについて

原則として必要な請求書類が教職員共済に到着した日の翌日から、団体生命共済については10日以内（土・日・祝日・年末年始を除きます）、医療共済については30日以内に共済金をお支払いします。ただし特別な照会または調査等が必要な場合は、その旨を受取人にご通知したうえで、お支払いまでの期間を延長することがあります。